

衛研第1-23号
平成27年 9月 2日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成27年第35週（平成27年8月24日～平成27年8月30日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症8人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症3人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、ジアルジア症1人、侵襲性肺炎球菌感染症1人、梅毒1人、播種性クリプトコックス症1人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2人、風しん1人の届出があった。

定点報告対象疾患では、手足口病(5.69 5.55)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まったが、前年同時期と比べかなり多い状況にある。保健所別では、春日部(3.17 8.00)、本庄(4.00 6.75)保健所管内で大きく増加し、幸手(10.44)、さいたま市(6.56)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では1歳が最も多く、4歳未満が全体の77.4%を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.15 1.34)の定点当たり報告数は、前週に比べ増加し今後の動向に注意が必要である。保健所別では、川越市(2.00 3.71)、川口(1.31 2.13)保健所管内で大きく増加し、熊谷(3.56)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、6ヵ月未満を除く全階級から報告があった。流行性耳下腺炎(0.93 0.92)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まり、前年までの同時期より多い状況が続いている。保健所別では、春日部(3.33)、幸手(2.89)、東松山(2.25)、越谷市(2.00)保健所管内で多い状況が続いている。伝染性紅斑(0.81 0.90)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。保健所別では、さいたま市(2.16)保健所管内からの報告が多い。RSウイルス感染症(0.06 0.19)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、狭山(0.41)、さいたま市(0.40)保健所管内からの報告が多い。眼科定点対象疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎は前週と同じ49人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、マイコプラズマ肺炎6人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症 報告なし

二類感染症 報告なし（結核を除く）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 8人（病型 患者6人、無症状病原体保有者2人、血清型 0157 4人、026 4人）

四類感染症 レジオネラ症 3人（病型 肺炎型3人）

五類感染症 アメーバ赤痢 1人（病型 腸管アメーバ症）

ジアルジア症 1人

侵襲性肺炎球菌感染症 1人

梅毒 1人（病型 無症状病原体保有者）

播種性クリプトコックス症 1人

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2人

風しん 1人（病型 検査診断例）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

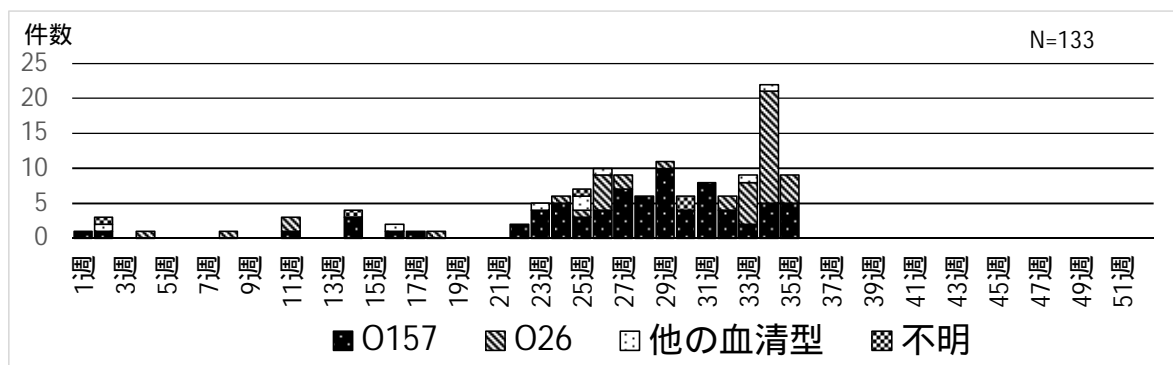
2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

注目すべき疾患

- 腸管出血性大腸菌感染症 -

腸管出血性大腸菌感染症は、今週 8 人の届出（診断週集計 9 人；0157 5 人、026 4 人）があり、届出数の多い状況が続いている。

週別血清型別届出状況(診断週集計)



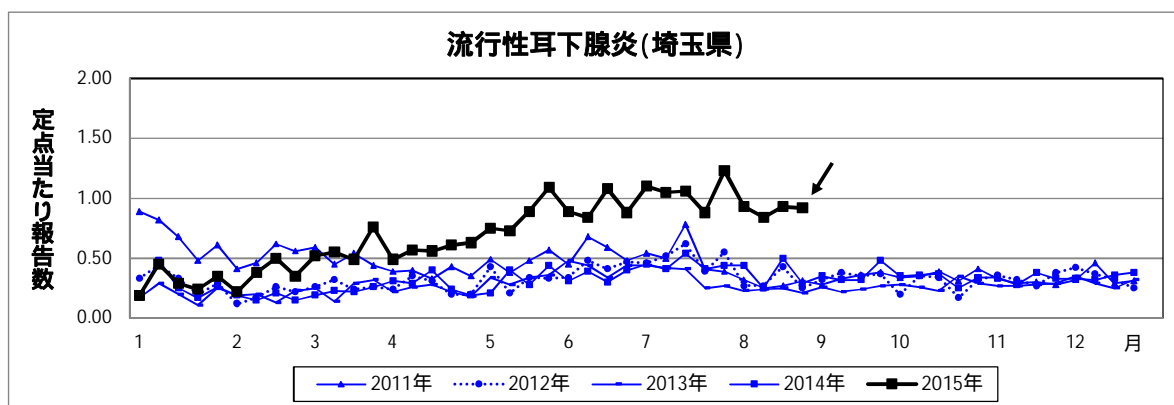
今週診断された 9 人の年齢は 10 歳未満 3 人、40 歳代 2 人の順であった。累計では最も多いのは 5～9 歳の 25 人で、0～4 歳の 12 人を合すると 10 歳未満は患者全体の 27.8%を占めている。病型別では患者 97 人、無症状病原体保有者 36 人で、患者が 72.9%を占めている。

年齢階級別病型別報告数

年齢階級	0～4	5～9	10～14	15～19	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
患者	10	18	10	5	12	12	7	4	7	12
無症状病原体保有者	2	7	3	4	6	2	7	2	1	2

- 流行性耳下腺炎 -

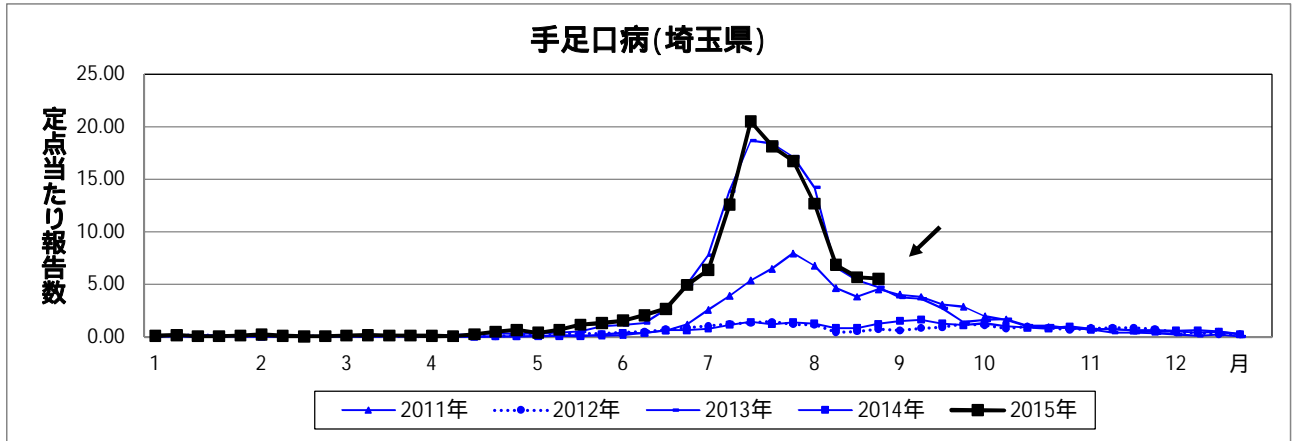
流行性耳下腺炎は年当初から増加傾向にあり、4 月以降は前年までの同時期より高い水準で推移している。今週の定点あたり報告数(0.92)は前週と同水準であったが、今後の動向には注意が必要である。



< 定点把握対象疾患の患者情報 >

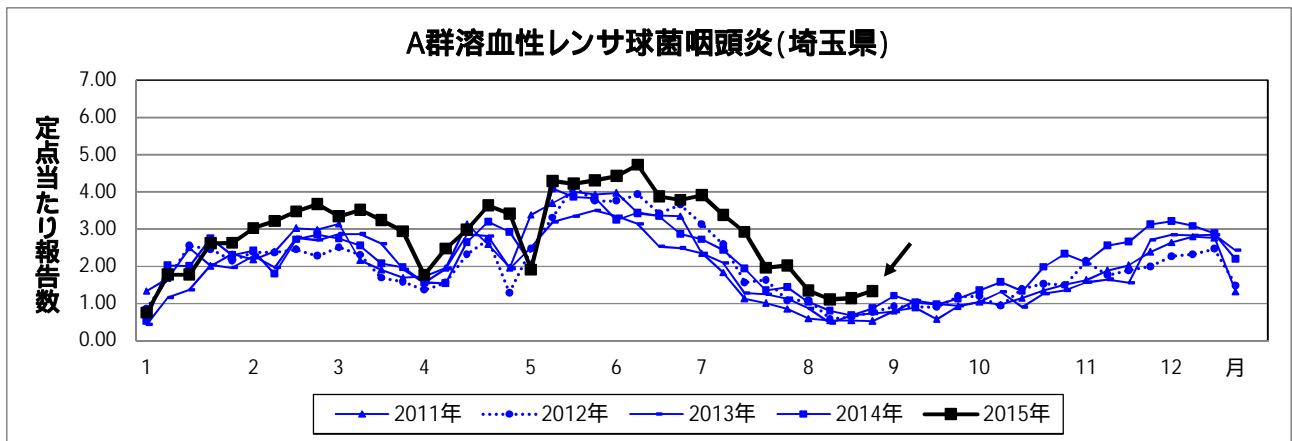
手足口病

県内全保健所から報告があった。保健所別では、幸手(10.44)、春日部(8.00)、本庄(6.75)、さいたま市(6.56)保健所管内からの報告が多い。



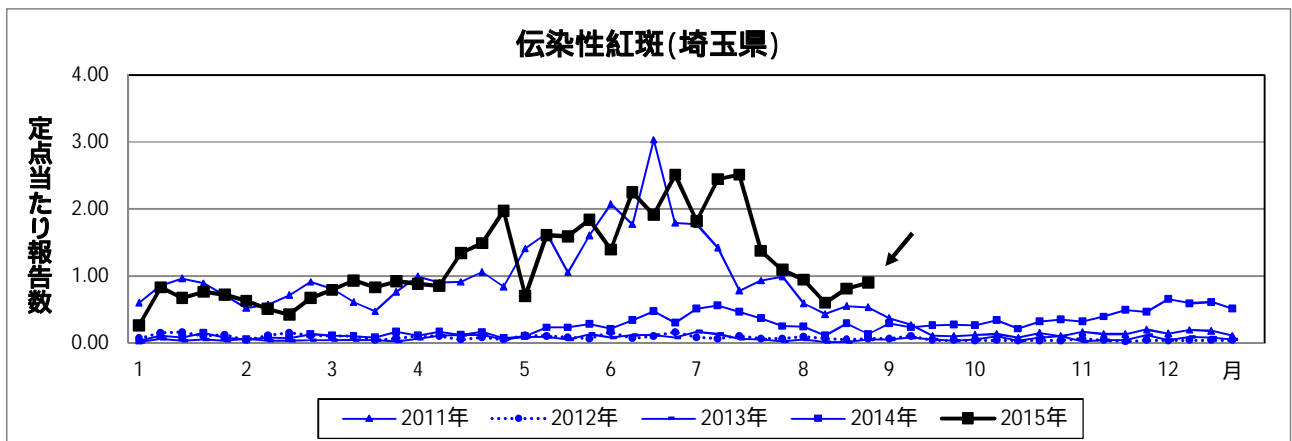
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

県内全保健所から報告があった。保健所別では、川越市(3.71)、熊谷(3.56)、川口(2.13)保健所管内からの報告が多い。



伝染性紅斑

東松山、秩父を除く14保健所管内から報告があった。保健所別では、さいたま市(2.16)保健所管内からの報告が多い。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第35週)

(2015年9月1日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		5	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	8	133			
四類感染症					
E型肝炎		6	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		11	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	47
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		8	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	24	侵襲性肺炎球菌感染症	1	56
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘*		6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		26	先天性風しん症候群		
急性脳炎		18	梅毒	1	63
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症	1	6
クロイツフェルト・ヤコブ病		6	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		24	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	5
ジアルジア症	1	3	風しん	1	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症		10	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3			

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査		週情報		報告患者数		保健所別		(第35週)		平成27年8月24日～平成27年8月30日												
	報告数	報告当たり	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎 (口ウイルス)	インフルエンザ (入院)	
全	4	0.02	0.19	0.45	210	549	31	871	141	122	0.03	0.03	144	1	0.02	1.20	-	-	-	6	-	-	-
川	-	-	0.19	0.50	34	82	-	77	11	11	-	-	12	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	-	0.21	0.14	150	429	0.21	500	0.14	1.07	-	-	186	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
鴻	1	0.05	-	1.08	1.17	3.67	0.58	4.00	1.50	0.67	-	0.83	1.17	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東	-	-	-	0.7	1	19	-	16	-	3	-	-	9	-	4	-	-	-	-	2	-	-	-
山	-	-	-	1.75	0.25	4.75	-	4.00	-	0.75	-	-	2.25	-	4.00	-	-	-	-	2.00	-	-	-
秩	-	-	-	1	2	5	-	6	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
父	-	-	-	0.33	0.67	1.67	-	2.00	-	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	-	-	-	4	7	-	-	27	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
庄	-	-	-	1.00	1.75	-	-	6.75	0.25	0.50	-	0.25	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
熊	1	-	0.11	0.89	3.56	9.22	0.22	5.67	1.22	0.89	-	19	3	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-
谷	-	-	-	1	2	5	1	2	3	2	-	9	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
加	-	-	0.17	0.33	0.83	0.17	0.33	3.83	0.50	0.33	-	1.50	0.50	-	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-
須	-	-	0.33	0.17	0.50	1.67	0.50	8.00	0.67	0.67	0.33	1.67	3.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春	2	-	-	3	10	10	2	94	6	5	-	5	26	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
日	-	-	-	0.33	1.11	1.11	0.22	10.44	0.67	0.56	-	0.56	2.89	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-
部	-	-	-	5	4	15	3	26	4	5	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
幸	-	-	-	0.83	0.67	2.50	0.50	4.33	0.67	0.83	-	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
手	-	-	-	2	12	29	3	56	8	8	1	9	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
戸	-	-	-	0.18	1.09	2.64	0.27	5.09	0.73	0.73	0.09	0.82	1.82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加	2	0.08	0.41	0.47	0.76	2.88	0.12	5.12	1.06	1.06	0.12	1.18	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山	1	0.08	0.29	0.14	3.71	3.86	-	4.57	0.71	0.57	-	1.14	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川	-	-	-	1	2	8	2	46	3	7	-	11	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越	1	0.08	0.13	0.13	0.25	1.00	0.25	5.75	0.38	0.88	-	1.38	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
谷	-	-	-	4	24	107	2	164	54	22	-	53	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
さい	-	-	0.40	0.16	0.96	4.28	0.08	6.56	2.16	0.88	-	2.12	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
たま	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 9月 1日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第35週 平成27年8月24日～平成27年8月30日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	1
RSウイルス感染症	30	2	11	12	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	70	-	1	8	10	17	13	9	3	2	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	210	-	1	10	10	24	26	41	19	20	10	5	29	1	14						
感染性胃腸炎	549	8	51	103	48	46	49	41	35	23	17	20	34	7	67						
水痘	31	1	3	4	5	5	5	-	2	2	1	-	2	1	-						
手足口病	871	9	88	296	175	106	61	50	26	9	9	10	15	2	15						
伝染性紅斑	141	-	-	10	8	16	25	21	16	14	10	7	10	-	4						
突発性発しん	122	4	39	62	14	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳	5	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2						
ヘルパンギーナ	207	-	27	54	47	32	14	14	8	2	3	3	2	1	-						
流行性耳下腺炎	144	-	-	5	11	16	29	22	17	12	10	6	9	-	7						
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	49	-	1	3	2	1	-	4	1	-	-	1	5	-	7	13	1	2	6	6	2
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	6	-	-	3	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 33週

(8月10日～8月16日)

平成27年9月2日

インフルエンザの定点当たり報告数は第30週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.76)、鹿児島県(0.13)、石川県(0.10)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は14例と前週と比較して増加し、6都県から報告があった。

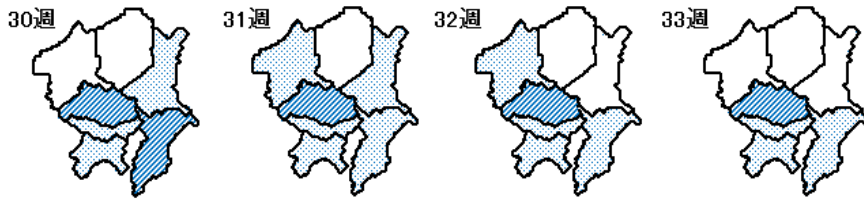
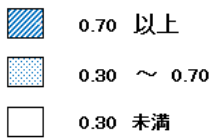
RSウイルス感染症の報告数は906例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は香川県(0.96)、埼玉県(0.86)、宮崎県(0.53)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.47)、鹿児島県(2.31)、静岡県(1.98)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(7.44)、愛媛県(4.86)、鹿児島県(4.65)である。水痘の定点当たり報告数は第30週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は大分県(0.39)、茨城県(0.36)、香川県(0.36)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(14.96)、新潟県(14.93)、長野県(13.66)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.42)、鹿児島県(0.93)、大阪府(0.62)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.96)、沖縄県(1.68)、石川県(1.45)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岐阜県(2.80)、高知県(2.13)、富山県(1.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。6道府県から8例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(2例)、10代(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少しているが、埼玉県でいまだ0.70を超えている。

咽頭結膜熱



平成27年 33週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 231 定点当たり 0.05	19 0.01	1 0.01	1 0.01	-	2 0.01	5 0.03	4 0.01	6 0.02
RSウイルス感染症	報告数 906 定点当たり 0.30	76 0.09	7 0.09	1 0.02	-	10 0.07	11 0.09	29 0.13	18 0.11
咽頭結膜熱	報告数 1,085 定点当たり 0.36	350 0.43	18 0.24	6 0.13	8 0.15	118 0.86	47 0.37	92 0.42	61 0.39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 3,108 定点当たり 1.03	790 0.97	95 1.27	36 0.75	49 0.89	154 1.12	140 1.11	209 0.95	107 0.68
感染性胃腸炎	報告数 7,446 定点当たり 2.47	1,942 2.37	216 2.88	32 0.67	98 1.78	364 2.64	251 1.99	545 2.49	436 2.78
水痘	報告数 673 定点当たり 0.22	162 0.20	27 0.36	7 0.15	4 0.07	22 0.16	18 0.14	48 0.22	36 0.23
手足口病	報告数 17,823 定点当たり 5.90	5,306 6.49	432 5.76	208 4.33	367 6.67	921 6.67	639 5.07	1,453 6.63	1,286 8.19
伝染性紅斑	報告数 1,143 定点当たり 0.38	346 0.42	41 0.55	22 0.46	11 0.20	80 0.58	58 0.46	66 0.30	68 0.43
突発性発しん	報告数 1,330 定点当たり 0.44	384 0.47	33 0.44	33 0.69	22 0.40	48 0.35	57 0.45	115 0.53	76 0.48
百日咳	報告数 38 定点当たり 0.01	8 0.01	-	-	-	-	7 0.06	1 0.00	-
ヘルパンギーナ	報告数 5,144 定点当たり 1.70	1,275 1.56	127 1.69	27 0.56	94 1.71	193 1.40	212 1.68	314 1.43	308 1.96
流行性耳下腺炎	報告数 1,315 定点当たり 0.44	348 0.43	42 0.56	12 0.25	14 0.25	108 0.78	73 0.58	61 0.28	38 0.24
急性出血性結膜炎	報告数 6 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 425 定点当たり 0.64	131 0.72	12 0.71	7 0.58	17 1.31	22 0.59	17 0.55	19 0.56	37 0.97
細菌性髄膜炎 #2	報告数 12 定点当たり 0.03	2 0.02	-	-	-	-	-	-	2 0.20
無菌性髄膜炎	報告数 33 定点当たり 0.07	3 0.04	-	-	-	-	-	1 0.04	2 0.20
マイコプラズマ肺炎	報告数 238 定点当たり 0.50	48 0.59	7 0.54	4 0.57	3 0.38	4 0.40	1 0.11	21 0.84	8 0.80
クラミジア肺炎 #3	報告数 7 定点当たり 0.01	3 0.04	-	1 0.14	-	-	-	1 0.04	1 0.10
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 8 定点当たり 0.02	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2015年 > 感染症の流行状況 2015年 第35週

感染症発生動向調査 2015年

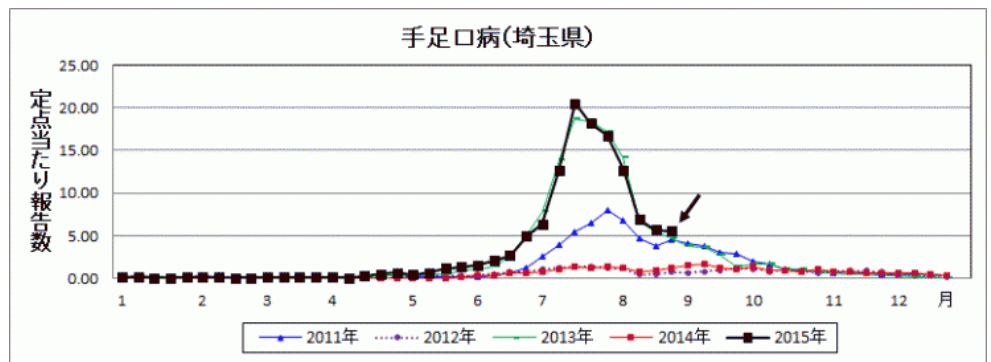
- [感染症の流行状況 2015年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第24週](#)

感染症の流行状況 2015年 第35週

2015年第35週（平成27年8月24日～8月30日）の要点 平成27年9月2日

手足口病の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まり、依然多い状況です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ			伝染性紅斑		
RSウイルス感染症			突発性発しん		
咽頭結膜熱			百日咳		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			ヘルパンギーナ		
感染性胃腸炎			流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		
水痘(みずぼうそう)			急性出血性結膜炎		
手足口病			流行性角結膜炎		

*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(:増減無し、 :増加、 :減少) *3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい、 、 大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン

お問い合わせ

保健医療部 衛生研究所 感染症疫学情報担当

郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1

電話：0493-59-9325

ファックス：0493-59-9613

[お問い合わせフォーム](#)